

令和8年度 京都市立梅津中学校

教育目標・経営方針

◆学校教育目標

自他を大切に作る共生の心と自らの生き方を探究する生徒の育成

～仲間とともに認め合い、学び合い、高め合う学校を目指して～

◆目指す生徒像

- (1) 自他の大切さを認め、仲間と認め合い・支え合いながら「つながり」を大切にできる生徒
- (2) 自主自律の精神を重んじ、仲間とともに学び合いながら主体的に学び続ける生徒
- (3) 夢や希望の実現において、他者と協働して新たなことに挑戦する生徒

◆目指す教職員像

- (1) 教育の使命と専門性を自覚し、自己研鑽に励み続ける教職員
- (2) 「当事者意識」を持って生徒理解に努め、一人ひとりの成長を支える教職員
- (3) 「チーム梅津」として協働し、指導と評価の一体化を図りながら互いに高め合う教職員

◆目指す学校像

- (1) 安心・安全を基盤とし、自他を尊重する風土が醸成された学校
- (2) 生徒が主体的に学び合い、高め合う中で愛着と誇りを持てる学校
- (3) 地域と連携・協働し、信頼関係のもとでともに子どもを育てる学校

◆学校経営方針

教職員個人の力量やスキルのみならず、教職員全体が一つのチームとして、相互理解・相互研修を通じて資質・能力の向上を図るとともに、人権尊重を基盤とし、仲間とともに学び合い高め合う教育活動を通じて、本校教育目標の実現に向け、以下の取組を推進する。

1. 基本的人権の尊重

- (1) すべての教育活動を通して人間尊重の精神を培う。特に「いじめ」は未然防止を徹底する。
- (2) 人権感覚の基礎を培い、差別のない明るい社会を築く意欲と実践力を培う。
- (3) 自他の考えや思いを認め合い、互いに尊敬し、高め合える集団を育成する。
- (4) SNSや感染症など、新たな人権課題に対応できる力を培う。

2. 学習指導の充実

- (1) 社会を生きる力を身に付けさせるため、主体的・対話的で深い学びを推進し、仲間とともに学び合う授業を実現する。
- (2) 基礎・基本の定着のため、課題のある生徒一人ひとりへの手立てを充実させる。
- (3) GIGA端末などを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。
- (4) 家庭も含めた学習習慣を確立させ、自主的に学ぶ姿勢を育てる。
- (5) 教科会の充実、報告研修による振り返り等を実施し、授業改善に向けた研修を行う。
- (6) カリキュラム・マネジメントの充実を図り、教科横断的な視点に立った教育活動を推進するとともに、総合的な学習の時間を中核とした探究的な学びの充実と、その成果の教科への還元を図る。

3. 生徒指導の充実

- (1) 基本的な生活習慣の定着を図り、主体的に安定した学校生活を送る力を育成する。
- (2) 危機管理を意識した生徒指導体制を確立し、問題の早期発見・早期解決に努める。
- (3) 保護者との連携を丁寧に保ち、まず確かな信頼関係を構築して指導にあたる。
- (4) 問題行動には、生徒理解を基盤にして、内面的理解を通じた指導を推進する。
- (5) 「いじめ」は、教育相談・ク라마ネの活用等による早期発見と丁寧な指導を徹底する。
- (6) 生徒会活動の活性化を図り、生徒が主体的によりよい学校づくりに参画する力を育成する。
- (7) 授業や学校行事、その他の活動等の教育活動全般において、成功体験と成就感を与える。

4. キャリア教育の充実

- (1) 進路指導をキャリア教育の一環としてとらえ、社会で必要な能力と生きる力を育成する。
- (2) 一人ひとりの個性や能力を伸ばさせ、主体的に進路選択ができるような進路指導を推進する。
- (3) 学びが自己の生き方や社会とつながっていることを実感させる。

5. 総合育成支援教育の充実

- (1) 障がいのある生徒の社会参加や自立を目指し、個々の可能性を最大限にのばす指導を工夫する。
- (2) 互いに理解し支え合う態度を育成するため、交流及び共同学習を推進する。
- (3) 支援の必要な生徒について、その困りを理解し、保護者と連携をして合理的な配慮を行う。

6. 健康を増進し、体力向上、安全な生活をする能力の確立

- (1) 主体的に健康の保持増進に努める態度と実践力を育成する。
- (2) 安全教育を推進し、校内の安全を確認するとともに事故や怪我の防止に積極的に取り組む。
- (3) あらゆる災害や感染症などに備える力をつけ、その対策・準備の重要性を認識させる。
- (4) 家庭・学校における基本的な生活習慣の定着を目指した上、食教育を進める。
- (5) 教職員自らも、働き方改革の推進による業務の整理と改善を図り、心身の健康の保持・増進に取り組む。

7. 図書館教育の充実

- (1) 知識を広め、思考力を育て、広い視野と豊かな人間性を養う基盤として、読書活動を推進する。
- (2) 聞く・話す・理解する（させる）等のコミュニケーション能力向上のため、図書館を活用する。
- (3) 学校司書と連携し、図書の実・整備をすすめ、授業等での図書館の活用を図る。

8. 教育環境の整備

- (1) 清潔で快適な学習・生活環境づくりをめざし、主体的に環境を整える態度を育成する。
- (2) 校内の施設・設備の有効利用とあわせて、公共物を大切にす態度の育成に努める。
- (3) 修繕箇所にはすぐに対応するなど、生徒が安全に過ごせるよう、施設・設備の保守に努める。

9. 家庭・地域・小学校との連携

- (1) 学校の教育活動に対する理解を求めるとともに、梅津三校の一貫教育を推進する。
- (2) 学校・家庭・地域のそれぞれの指導のあり方に関する相互理解を深め、連携の強化を図る。
- (3) 地域の教育の中心としての役割を認識し、地域の教育力向上を目指す。

10. G I G Aスクールの推進

- (1) ICT 機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。
- (2) 情報モラル指導を徹底し、SNSの不適切な使用によるトラブルを防ぐ。